



こんにちは！
日本共産党の **小山ゆりえ** です

消費税 8%

5%実施から17年 進む貧困化に大増税直撃 庶民に増税 大企業に減税やめよ

日本共産党

税は「応能負担」が原則 国民所得ふやす政策を

4月1日からの消費税増税で総額 8兆円、年金削減や医療費負担増などと合わせ 10兆円の史上空前の国民負担増が強行されました。本来税は「応能負担」が原則ですが、現行の消費税は低所得者ほど負担の重い不公平な税です。

賃金 70万円減り、大企業潤う 消費税5%実施から17年、この間に国民の貧困化が進みました。働く

人の賃金は年間 70万円も減少。非正規雇用が増え、貯蓄なし世帯は3倍に。一方法人税は下がり税収も3兆円減少。大企業は潤い、内部留保は倍増！それでもなお更なる庶民増税と法人税減税を計画し「大企業栄えて民滅ぶ」の道を突き進む安倍内閣。この暴走を食い止め、国民所得をふやす政策を実現させることが何よりも必要です。



年金生活者で 医療生協運営委員の 秋山瑞雄さん（81） 少ない年金が4月よりまた更に減額されるので、本当

厳しくなり、食べる物はどうしても控えてしまいます。

医療生協の活動で「歴史散歩」を担当しており、下見であちこちと出歩くので、交通費の値上がりは痛いです。それにスイカと切符では金額が異なり、「交通費〇〇円かかります」と伝えるのに戸惑ってしまいます。

<5%増税から17年間の変化>

	1997年		現在
大企業の経常利益	15.1兆円	↗	26兆円
大企業の内部留保	140兆円	↗	272兆円
所得税の最高税率	50%	↘	40%
法人税率	37.5%	↘	25.5%
賃金（年額）	446万円	↘	376.8万円
年収200万円以下の民間給与所得者	814万人	↗	1090万人
非正規雇用比率	23.2%	↗	37.6%

“思い”を伝えるために奮闘する船橋ゆき子さん

市議補選に挑戦する船橋ゆきさんが、2月19日より街頭宣伝をスタートさせました。その日の出来事を載せた「船橋ゆき子のブログ」から、その一部を紹介します。

沿道からの声援に勇気をもりました

通る過ぎる車から手を振ってくださる方、激励のクラクションを鳴らしてくださる方、散歩で通りかかった方から「がんばれよ！」という声援、力をいただきました。沿道からの激励が、こんなにも温かく勇気をもたせることに感動しながら精一杯演説をしました。
泣いてくれた彼女の思いを忘れません

ある場所では、友だち親子が寒中演説を聞いてくれました。演説が終わって彼女の元へ行くと、なんと泣いていて…私も感無量になって一緒に泣いてしまいました。原発事故以降の思いがあふれました。

「小さな声じゃなくて、マイクを通した大きな声で言ってくれてありがとう。」と喜んでくれました。こちらこそありがとう。お互い泣きながら何回もハグしあって、「がんばるからね」って言って別れました。泣いてくれた彼女の思いを忘れません。



初めての街頭演説を行う船橋さん

戦争の時代を再び

蘇らせてはいけない

日本共産党
子ども・環境対策責任者 船橋ゆき子

私の義父は終戦当時、茨城県古河市で十四歳十五歳だった世代です。折に触れて戦中戦後の話をしてくれます。

義父の戦争体験

洗脳されていて大本営発表を疑わず、日本が負けるなんて考えもしなかった。機銃掃射の機内の人の姿が見えるくらい近くを飛んでいた。長兄が徴兵されフィリピンで亡くなったが、敗戦二年後に「病死」として空の白木の箱が帰ってきただけ。夜、東京方面の空が赤くなって、焼夷弾で焼かれているのがわかった。「中国では大きな穴を掘って銃剣で刺して殺した」と親戚が普通に話していた等「ひどい時代だったなあ。」と言います。

現在の日本が向かっている先は

ところが現在、安倍政権が目指す日本は「集団的自衛権行使」「特定秘密保護法」「防衛装備移転三原則」「憲法解釈・改憲」「国民投票法改定案」などときな臭いものばかりです。義父が経験した苦しかった時代が再現される瀬戸際に立っていると感じます。

戦争できる国にしないため

私はまだまだ勉強不足ですが情報を集め、自分の頭で考えて、おかしなことには声をあげて行動し続けたいと思います。



共産党後援会の「新春のつどい」に義父と参加しました。

黒浜地域(小山議員の選挙区域)の写真を集めてみました。



サクラ満開の西城沼公園



江ヶ崎のはずれにある田んぼの中の小さな祠



ウメの蜜を吸うメジロ

環境学習館 利用再開へ

耐震性に問題があるとして閉鎖していた環境学習館ですが、建物裏の駐車場スペースに新たに建てた平屋の施設で、4月16日から利用が一部再開されます。



新築された建物

利用再開されるのは約75㎡の会議室一室です。また駐車可能台数も少なくなりました。旧館は時期は未定ですが建てかえられる予定です。

編集後記

例年4月といえば「入学式」や「花見」など気持ちが明るくなる月なのですが、今年は「消費税増税」「年金引き下げ」など暗い気分になってしまっています。政府にこの気持ちをぶつけてやりたいと思っている方、蓮田市では市議補選がありますよ。「消費税増税」「年金引き下げ」に反対する日本共産党の候補者を勝利させ、明確に意志表示しましょう。

